

峯家族達、
ありがとうございました

峯家族の皆さんは、私にとって「特別な素晴らしい」をもつたご家族です。いつもお互いの気持ちを気遣い、明るく過ごせるように心を配っていて、家の中が静かな時間でさえ、変わらぬ愛情に満ちていました。

これほどまでに深く愛し合っている家族に出会ったことは、これまで一度もありません。短い期間ではありましたが、誰かが私のことを思い浮かべ、私をこのご家族のもとに迎えてくれたことを、私はとても幸運に感じています。

日本で出会えたたくさんの人たちとは、皆本当に素敵なお方々でした。今では毎日のように、「皆さんと出会えたこと」を嬉しく思っています。

その経験が、私にどれほど大きな影響を与えたか、分かりますか。

放課後に一緒に食べたお菓子を、思い出がよみがえってしまって、なかなか食べられずにいること。

一緒に聴いた音楽が、たとえ元から知っていた曲であっても、今では全く違う意味を持つようになったこと。

私は一瞬一瞬を大切に過ごしました。

琴葉と一緒に学校へ行ったこと。

菜乃葉と町を歩いたこと。

伊都葉と一緒に「お仕事」をしたり、遊んだりしたこと。

聰と車で出かけ、たくさん話をしたこと。

はるかと商店で一緒に過ごした時間。

みかん狩りに行つたこと、うどんやお寿司を食べに行つたこと。

いろいろなコンビニに行って、どこが好きか話したこと。

保育園へ伊都葉を迎えて行つたこと。

そのすべてが、私にとってかけがえのない思い出です。

私は、ほんの気まぐれで日本語の勉強を始めました。音楽が好きだったことがきっかけでしたが、気がつけば、こんなにも遠くまで連れてきてくれました。

私は、皆さんの家の中を知り、お店を知り、学校を知り、そして生活そのものを知ることができました。

「生きること」そのものが持つ、日々の小さな素晴らしいの中に、私は迎え入れてもらったのです。

そのことに、心から感謝しています。ここで作った思い出を、私はずっと大切にします。

私は、また必ず戻ってきます。

日本語の会話力をもっと伸ばすためでなくとも、

一緒に行った梅の季節のお寺をもう一度訪れるためでなくとも、

薩摩川に打ち上がる花火を見るためでなくとも、

少なくとも——カレーを食べるため。

そして、はるか。

ついに決めました。日本料理の中で一番好きな食べ物は、あなたのカレーです。

また必ず、皆さんに会いに来ます。

それまで、待っていてくださいね。

— えびちゃん